

世界遺産登録に係る市長コメント

本日、晴れて「明治日本の産業革命遺産」の世界文化遺産登録の喜びを皆様とともに分かち合うことができますことを大変うれしく思います。

長崎市には、全国23資産の内の8つの資産があります。

今回、「明治日本の産業革命遺産」を世界文化遺産に登録するための作業のなかで、長崎というまち、特に出島の存在が、今の日本という国の礎になっていたということ、あらためて認識しました。

トーマス・ブレイク・グラバーが、日本の近代化にいかに貢献したかということも再認識しました。

日本の近代化の過程において、長崎のまちの存在とグラバーの活躍があったということ、今後しっかりと周知していきたいと考えています。

明治日本の産業革命遺産の世界文化遺産登録は、長崎市民にとって非常に大きな誇りとなります。

長崎市民、特に将来を担う長崎の子どもたちとともに、長崎には世界に誇れる歴史があり、100年前に成し遂げられた素晴らしい出来事があったということ、喜びあいたいと思います。

そして、今回の世界遺産登録を契機とした「これからのまちづくり」を市民の皆さんとともに考えていきたいと思っています。

平成27年7月5日

長崎市長 田上 富久